

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	茨城県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	笠間市立箱田小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	1	1	7	13
児童数	27	27	25	23	31	37	2	170	

研究の概要

1. 研究主題

基礎・基本の定着と自ら学び自ら考える力の育成  
～個性や特性に応じた多様な学習のあり方を工夫する～

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

全学年・算数科  
・ 児童の理解の状況に個人差が出やすい教科であるため。  
・ 少人数授業の効果を見るには、算数科が適していると考えられたため。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度

テーマ  
児童一人一人に基礎的・基本的な内容の定着を図るとともに、自ら学び自ら考える意欲や態度を育成するために、個に応じた指導方法や指導体制のあり方を追究する。

研究の見通し  
・ 各学年の学習内容を明確にし、少人数授業や習熟度別指導、TT指導、教科担任制などの指導形態を工夫すれば、児童一人一人の多様な学びに対応することができるだろう。  
・ 個に応じたきめ細やかな指導方法や指導体制、教材の開発、評価を工夫すれば、児童一人一人に基礎・基本が定着し、自分にあった学習の仕方を見いだし、問題を解決しようとする児童の育成を図ることができるだろう。

研究の内容・方法  
・ 指導方法や指導体制の工夫(指導形態の工夫、少人数指導・習熟度別指導の実施、児童の実態調査、指導計画の作成、職員研修の充実)  
・ 評価の工夫(振り返りカードの活用、評価規準の作成)  
・ 教材の開発(発展的・補修的な学習のための教材開発)

平成16年度

テーマ  
児童一人一人に基礎的・基本的な内容の定着を図るとともに、自ら学び自ら考える意欲や態度を育成するために、個に応じた指導方法や指導体制のあり方を追究する。

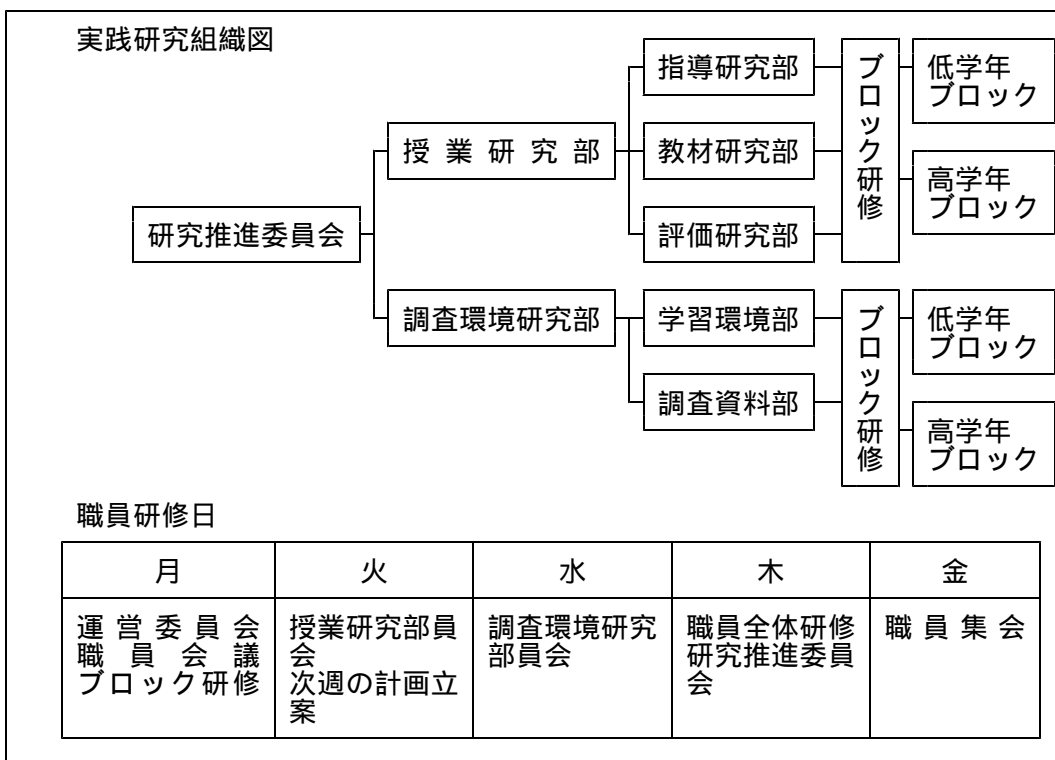
研究の見通し  
・ 各学年の学習内容を明確にし、少人数授業や習熟度別指導、TT指導、教科担任制などの指導形態を工夫すれば、児童一人一人の多様な学びに対応することができるだろう。  
・ 個に応じたきめ細やかな指導方法や指導体制、教材の開発、評価を工夫すれば、児童一人一人に基礎・基本が定着し、自分にあった学習の仕方を見いだし、問題を解決しようとする児童の育成を図ることができるだろう。

研究の内容・方法  
・ 指導方法や指導体制の工夫(指導形態の工夫、少人数指導・習熟度別

指導・TT指導の実施，学習過程の工夫，児童の実態調査，指導計画の修正，職員研修の充実）

- ・ 評価の工夫（振り返りカードの活用，評価規準の作成）
- ・ 教材の開発（発展的・補修的な学習のための教材開発）
- ・ 家庭や地域との連携（学校・学習支援ボランティアの活用，広報活動の工夫，保護者の実態調査，笠間市学力向上フロンティア事業連絡協議会・推進委員会との連携強化）

### (3) 研究推進体制



### 平成15年度の研究成果及び今後の課題

#### 1. 研究成果

全学年で算数科の習熟度別指導を実施。1学級を2コースに分けて指導を始めるが，高学年は知識や技能の習熟の差や学習スピードの差を考慮3コースが設定できるように工夫した。

1年担任が2年算数科の協力教員として参加し，2コース別に加え基礎コースでTT指導ができるように工夫した。

コース別は，高学年は知識や技能の習熟の差や学習スピードの差を考えたもの，中学年は学習スタイルの違いを考えたもの，低学年は学習スキルや直接経験の有無を考慮設定した。

コースの指導者は單元ごとに見直し，学習集団の意識の差別化が行われないうようにした。

コースの途中変更を認め，学習のためのコース別学習であることを確認した。

振り返りカード（含む学習計画・本時の反省）は学習面・評価面からも有効であり，今後も工夫を加え活用していく。

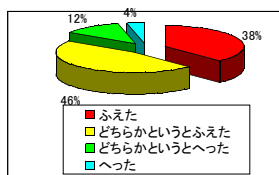
指導計画（含む評価規準）を作成。合わせて指導形態と反省を書き込み，次年度への資料化を図った。

発展的・補修的な学習のための教材を開発。（発展的3事例，補修的3事例）児童の意識が変容した。

7月：教師と話をしたり直接教えてもらうなど教師との関わる機会がふえてきた，発表するようになってきたなど，他との関わり方の変化を挙げた。（資料1）

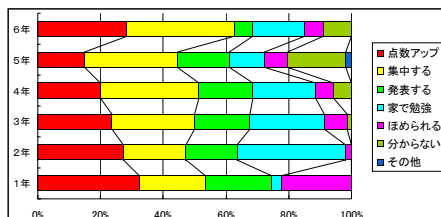
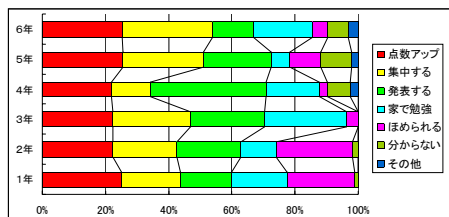
1月：学習に集中するようになった，家で学習するようになってきたなど，自分の学習態度の変化を挙げるようになった。（資料2）  
勉強の内容がよく分かると答える児童の割合が高くなった。（資料3）

(資料1)「授業中先生と話すことがふえましたか？」



< H 1 5 . 7 月 >

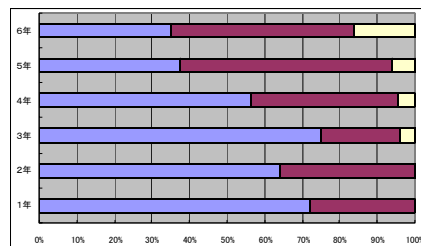
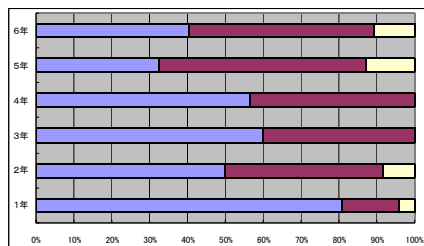
(資料2)「算数の授業で自分がのびたと思うことは何ですか？」  
< H 1 5 . 7 月 > < H 1 6 . 1 月 >



(資料3)少人数授業について「勉強の内容がよく分かりますか？」

< H 1 5 . 9 月 >

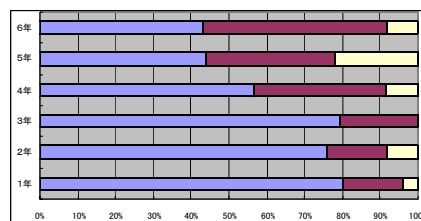
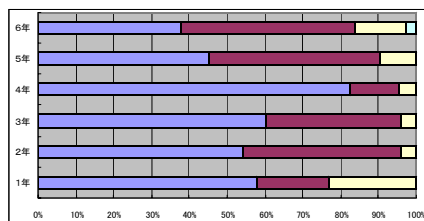
< H 1 6 . 1 月 >



よくあてはまる   どちらかといえばあてはまる   どちらかといえばあてはまらない   あてはまらない

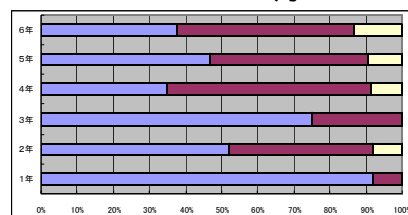
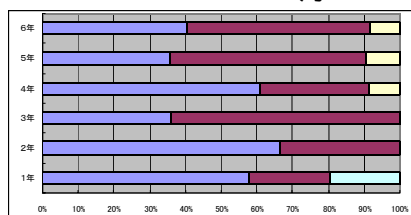
コース選択や自力解決に対する意識も変容した。(資料4)(資料5)

(資料4)「選んだコースは自分に合っていますか？」  
< H 1 5 . 9 月 > < H 1 6 . 1 月 >



よくあてはまる   どちらかといえばあてはまる   どちらかといえばあてはまらない   あてはまらない

(資料5)「自分の力で学習問題を解決しようとしていますか？」  
< H 1 5 . 9 月 > < H 1 6 . 1 月 >



よくあてはまる   どちらかといえばあてはまる   どちらかといえばあてはまらない   あてはまらない

## 2. 今後の課題

個に応じたきめ細やかな指導となるように、指導方法・指導体制の工夫改善に取り組む。  
 学力の向上を客観的に測定するにはどのような方法が望ましいのか研究を進めるとともに、必要なデータを蓄積していく必要がある。  
 家庭や地域との連携を図るため、広報活動の充実を図り、学校や地域ボランティアの活用方法について検討していく必要がある。  
 基礎・基本の定着のためには、「評価規準」に基づいた適切な評価をその後の指導や学習の改善へ生かしていく必要がある。そのための児童の学習到達度を客観的に評価するための評価規準の作成と評価方法の工夫に努めなければならない。また、「再評価」についてもどのように行うか研究していきたい。  
 発展的な学習や補充的な学習を行うための教材について研究を進め、教材の開発に努めたい。

### 学力等把握のための学校としての取組

学力診断テスト（茨城県統一のもの4教科）4月  
 児童の実態調査（学習に関する意識調査）7月、9月、1月  
 観点別到達度検査（算数科、国語科）2月  
 保護者の意識調査（児童の変容）毎月の学校参観時

### フロンティアスクールとしての研究成果の普及

学力向上フロンティア事業説明会（4月25日）箱田小学校、保護者対象にフロンティアスクールとしての研究計画を説明する。  
 授業研究協議会（5月28日）箱田小学校、本校職員に対し算数科授業を提案し、授業のあり方について研究協議を行う。  
 授業研究会（7月9日）箱田小学校、本校職員、笠間市内フロンティアスクールに対し算数科授業を提案し、指導のあり方について研究協議を行う。  
 研究発表会（10月31日）箱田小学校、フロンティアスクールとして授業を提案するとともに、研究成果について発表、研究協議会を持つ。  
 HPにフロンティアスクールとしてのページを立ち上げ、情報の発信を行う。  
 研究だより「はこだ」発行。パンフレットで保護者に研究成果を紹介する。  
 笠間市教育会の研究紀要にフロンティアスクールとして研究成果を発表する。

~~~~~  
 次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

|                      |                            |                   |                        |
|----------------------|----------------------------|-------------------|------------------------|
| 【新規校・継続校】            | 15年度からの新規校                 | 14年度からの継続校        |                        |
| 【学校規模】               | 6学級以下<br>13～18学級<br>25学級以上 | 7～12学級<br>19～24学級 |                        |
| 【指導体制】               | 少人数指導<br>一部教科担任制           | T・Tによる指導<br>その他   |                        |
| 【研究教科】               | 国語<br>生活<br>体育             | 社会<br>音楽<br>その他   | 算数<br>図画工作<br>理科<br>家庭 |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 |                            | 有      無          |                        |